

# 食物アレルギーがある 幼児児童生徒の 保護者の方へ

# 食物アレルギーがある子供たちが 学校生活を安心して過ごすために

## 「学校生活管理指導表」 って何!?

医師が診断結果に基づいて、幼児児童生徒のアレルギー疾患の情報を記載するためのものです。学校が食物アレルギーがある幼児児童生徒への対応を行う際、個々の症状等を正しく把握する必要があります。学校生活上の留意点を踏まえて適切な対応を考えていきます。

<b>学校生活管理指導表 (アレルギー疾患用)</b> 名前: _____ 性別: _____ 平成 ____年 ____月 ____日生 ( ____歳) 学校: _____ 年 組: _____ 提出日: _____			
<b>食物アレルギー (あり・なし)</b> A. 食物アレルギー病型 (食物アレルギーありの場合のみ記載) 1. 即時型 2. 口腔アレルギー症候群 3. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー B. アナフィラキシー病型 (アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載) 1. 食物 (原因) 2. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー 3. 運動誘発アナフィラキシー 4. 昆虫 5. 医薬品 6. その他 ( ) C. 薬物食物・診断結果 該当する食品の番号に○をし、かつ【 】内に診断結果を記載 1. 卵類 ( ) 2. 牛乳・乳製品 ( ) 3. 小麦 ( ) 4. ソバ ( ) 5. ビーナッツ ( ) 6. 種実類・木の实類 ( ) ( ) 7. 甲殻類 (エビ・カニ) ( ) 8. 薬物類 ( ) 9. 魚類 ( ) 10. 肉類 ( ) 11. その他1 ( ) 12. その他2 ( ) D. 緊急時に備えた処方箋 1. 内服薬 (抗ヒスタミン薬、ステロイド薬) 2. アドレナリン自己注射薬 (「エピペンJR」) 3. その他 ( )	<b>アレルギー (あり・なし)</b> A. 病型 1. 通年性アレルギー性鼻炎 2. 季節性アレルギー性鼻炎 (花粉症) 主な症状の時期: 春、夏、秋、冬 B. 治療 1. 抗ヒスタミン薬・抗アレルギー薬 (内服) 2. 鼻噴霧用ステロイド薬 3. その他 ( )	<b>学校生活上の留意点</b> A. 給食 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定 B. 食物・食料を扱う授業・活動 1. 配慮不要 2. 保護者と相談し決定 C. 運動 (体育・部活動等) 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定 D. 宿泊を伴う校外活動 1. 配慮不要 2. 食事やイベントの際に配慮が必要 E. その他の配慮・管理事項 (自由記載)	保護者 電話: _____ 保護者署名: _____ 医師 診断結果 ① 呼吸器症状の既往 ② 食物負荷試験陽性 ③ IgE抗体検査結果陽性 医師署名: _____ 医師機関名: _____ 電話: _____ 記載日: _____年 ____月 ____日 医師名: _____ (印) 医師機関名: _____

具体的な対応は学校と保護者が相談して決めます。

表面には気管支ぜん息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性結膜炎を、裏面には食物アレルギー、アレルギー性鼻炎を記載するようになっていきます。

病型・治療の部分は特に重要となります。まずはかかりつけ医に相談し、診断を受けることをお勧めします。

※学校生活管理指導表を医師が記載するにあたり、各医療機関で定められた料金がかかる場合があります。

〈学校生活管理指導表〉 出典：公益財団法人日本学校保健会

**✓ 幼児児童生徒の食物アレルギーに対して、学校において配慮を希望する場合は、必ず学校生活管理指導表を提出してください。**

**Q 学校生活管理指導表はなぜ必要なの？**

**A** 学校生活で配慮を希望する場合は、学校生活管理指導表に記載されている医師の診断結果に基づいて学校 (共同調理場) と保護者が面談をします。学校生活管理指導表は配慮の内容を決める時に必要な資料となります。  
また、面談で決まった内容や学校生活管理指導表の内容については、全ての教職員で共有します。

**Q 学校生活管理指導表はだれがどこへ出すの？**

**A** 医療機関で食物アレルギーがあると診断され、学校での配慮を希望する場合、医師が食物アレルギーに関する情報を記載し、**保護者が学校に提出します。**  
症状等に変化がなくても引き続き配慮や管理を希望される場合は、毎年1回以上、医療機関を受診し、学校生活管理指導表を学校に提出します。

## 学校生活管理指導表を提出することで…

- 医師による正しい診断を基に、適切な対応をすることができます。
- 不必要な制限をしないで済むことがあります。
- 安全で楽しい学校生活を送ることにつながります。

